

- 20Frでの一期的な造設
従来のキットでは15Frでしたが、一期的に20Frカテーテルでの造設が可能です。
- 突出部が短くなった新PS針
従来のイントロデューサー法キットと比べて、針の突出部が短くなりました。

当社従来品 イントリーフ

操作性を考えた本体形状

従来のPS針と比べ軽量化した、持ちやすい本体形状です。

解除ボタン

ボタンを押すと先端のプロテクションスリーブのロックが解除され、刃先が出る状態になります。上部からも状態を確認できます。



※緑色が見えているときは、刃先の出ない状態です

本体把持部

穿刺時の持ちやすさを考慮したフォルムです。

シース

カテーテルを通して留置するためのシースです。左右に引っ張ると裂け、きれいに取り去ることが可能です。

プロテクションスリーブ

通常はロックされていますが、「解除ボタン」を押すことで、ロックが解除されます。

刃先

「解除ボタン」を押して穿刺すると刃先が突出します。

「解除ボタン」を押していない状態(「プロテクションスリーブ」がロックされた状態)では刃先は出ません

実物大

仕様

イントリーフ PEGキット(鮎田式胃壁固定具II付) 医療機器認証番号:224ACBZX00017000



品目コード	カテーテルサイズ	規定容量	シース内径	固定板	セット品	JANコード
800 001 2171	20Fr(6.7mm)	10mL	7.4mm	一体型	鮎田式胃壁固定具II	4542187178371

1キット/箱・滅菌済

- 鮎田式胃壁固定具II仕様・・・穿刺針外径20G(0.9mm)・穿刺針有効長81mm・全長230mm
- PS針シース付仕様・・・シース内径7.4mm・長さ100mm
- カテーテル仕様・・・X線造影ライン・バルーン後端から20~110mmまで10mm間隔のデプスマーク
先端開孔・全長225mm
- 潤滑ゼリー(潤滑剤)仕様・・・5g

付属器具

※イントリーフ PEGキットをご注文の際は、これらの付属器具が含まれます。



手術基本キット(PEG用処置キット) 医療機器承認番号:21600BZZ00236000 製造販売元:株式会社 リブドコーポレーション

品名	数量	品名	数量
手術基本キット添付文書	1枚	モスキート鉗子(曲) 130mm先細タイプ	1本
撥水穴あきテーブドレープ 900×900 φ90	1枚	HG-224コットンガーゼ 300×150(8折)Yカット	5枚
注射針18G×1 1/2'(38mm),R(pink)	1本	HG-513ニューRDガーゼ300×300(8折)	5枚
注射針(カテーテル用)23G 60mm,R(deep blue)	1本	消毒トレー1槽 ポリプロピレンフィルター、83×83×33mm	1個
プラスチックシリンジ 10mL、中口	1本	柄付き医療用消毒スポンジ 全長200mm、スポンジ部50×60mm	2本
セーフシールドスカルペルNo.11	1本	トレー プルーフ 25.4×12.7×5.1cm	1枚
ナイロンモノフィラメント40cmカット、糸号数2-0、色青【5本入り/袋】	1袋	撥水ドレープ(包材) 900×900	1枚

□ 弊社は常に研究開発を行っておりますので、予告なしに製品仕様の一部を変更する場合があります。予めご了承ください。
□ ご使用にあたっては、必ず添付文書をご一読ください。

クリエイトメディック株式会社
CREATE MEDIC

本社 横浜市都筑区茅ヶ崎南2-5-25
ホームページ <http://www.createmedic.co.jp>

INTOLIEF

イントリーフ PEGキット (鮎田式胃壁固定具II付)

医療機器認証番号:224ACBZX00017000



やさしさを追求した イントロデューサー法

患者さんと医療従事者双方にやさしい

イントリーフはイントロデューサー法に
“緩和・軽減・安心”という意味の
“リリース”が加わった
さらに使いやすくなった
PEGキットです。

ニードル プロテクション機能

を持った新PS針

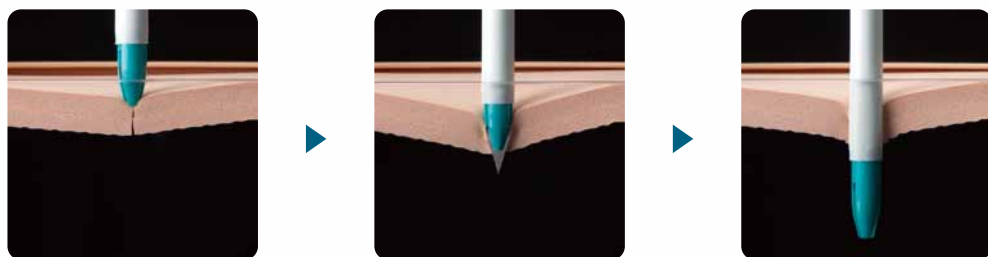
針先を保護することで、
以下のリスクを
低減します

医療従事者の
針刺し事故

穿刺の際の
胃後壁誤穿刺

穿刺時の ニードルプロテクション機能の動き

“シース”が胃内に入ると胃や筋肉等の組織による
“プロテクションスリーブ”への抵抗が無くなることで“プロテクションスリーブ”が元に戻り、
刃先が隠れ、ロックされます。(“解除ボタン”も元の位置に戻ります。)



片手操作可能な鮫田式胃壁固定具Ⅱ

イントロデューサー法に必要な不可欠な鮫田式胃壁固定具Ⅱがセットに。

- 系送りローラー
ローラーを矢印の方向に回すと縫合糸を胃内に送り込むことができます。(順・逆操作が可能)
- ループ挿入用ロッド
穿刺後、ループ挿入用ロッドを押すと胃内で糸保持用ループが形成されます。
- 解除ボタン
糸を送り込んだ後、解除ボタンを押すだけで縫合糸を保持することができます。



横向きにも固定できる 20Frのカテーテル (バルーン容量 10mL)

- 胃後壁への接触性潰瘍のリスク低減のため、先端が突出しないバルーン形状です。
- 従来のキット品より太いチューブ内腔を確保した20Frのカテーテルで栄養材の詰まりを軽減します。また、半固化栄養材の注入も楽に行えます。
- 体に沿わせて横向きにも固定できる固定板で、栄養材を投与しないときはスマートに固定。



造設に必要な PEG用処置キット

- 胃壁腹壁固定に必要な不可欠な鮫田式胃壁固定具Ⅱを始め、スカルペルやモスキート鉗子などが付属しています。



手技手順

胃壁腹壁固定

- 糸挿入口から縫合糸を挿入し、糸送りローラーを回して針先端の直前まで送り込みます。
 - マーキングした部位に、両方の針を垂直に刺入します。
 - ループ挿入ロッドを押し込むと、糸保持用ループが形成されます。
 - 糸送りローラーを回して縫合糸を送り込み、糸保持用ループを通過させます。
 - 解除ボタンを押して糸保持用ループを針の中に戻すと、穿刺針先端で縫合糸を保持した状態になります。
 - 縫合糸を保持したまま静かに体外へ抜去すると、それぞれの穿刺部位から縫合糸が誘導されます。
 - ループ挿入ロッドを押し込み、縫合糸をフリーにします。
 - 体外に誘導された縫合糸を腹壁外で結紮します。
- 9 引き続き縫合糸をセットし、対称のマーキングした部位に同様の手技を行ってください。

穿刺～カテーテル留置

- PS針シース付の緑色の解除ボタンを押してプロテクションスリーブのロックを解除します。
- PS針シース付を回転させずにゆっくりと垂直に刺入し、胃内へ到達させます。
- シース先端部が胃内に到達するとプロテクションスリーブがスライドしてPS針が隠れます。
- ①シースを固定した状態で本体を反時計回りに90°回転させ、②シースが抜けやすいよう注意しながら、PS針のみを抜去します。
- エアリークを防ぐためにシースを指で塞ぎ、潤滑剤を塗布したカテーテルをデブスマークが全て隠れるまで挿入します。
- バルブから規定容量の滅菌蒸留水を注入してバルーンを膨らませます。
- シースのハンドルを軽く左右に割って、シースを取り外します。
- バルーンが胃前壁に軽く接触する程度に牽引して、内視鏡下で確認します。カテーテルの固定板を腹壁側に移動します。